

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: R4 年 2月 22日

事業所名: 子育てサポートどんぐり

|          |  | チェック項目  | はい | いいえ                      | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                     |
|----------|--|---|----|--------------------------|--|--|
| 環境・体制整備  | 1                                      | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか  | ○  |                          | ・活動によって環境設定をしている。  | ・状況や遊びによっては場所を変えて行えるようにします。                  |
|          | 2                                      | 職員の配置数は適切であるか   | ○  |                          | ・全員で実務に入ることができている。   | ・一人ひとりにスキルアップに努めています。                        |
|          | 3                                      | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか  |    | ○                        | ・物の高さ難しい部分もあるが危ない箇所はリフォームできている。                                | ・今後も危ないと思われる箇所を想定しながら、工夫、配慮をしていきます。          |
|          | 4                                      | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | ○  |                          | ・昨今の状況もあいまって、特に感染予防の視点で環境整備を行った。                               | ・引き続き、工夫しながら努めています。                          |
| 業務改善     | 5                                      | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか   | ○  |                          | ・日々、職員間で話し合いの場を設けている。  | ・時間等工夫しながら、職員が無理なく参加できる環境にしています。             |
|          | 6                                      | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか  | ○  |                          | ・毎年、保護者に対して事業所の評価を実施、協力を得ている。                                  | ・評価結果を職員で共有しながら、改善にむけ話し合いをしています。             |
|          | 7                                      | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                   | ○  |                          | ・ホームページにて公開している。   | ・評価結果を職員で共有しながら、改善にむけ話し合いをしています。             |
|          | 8                                      | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか   |    | ○                        | ・外部評価はできていないが法人内で内部監査を実施して業務改善へとつなげている。                        | ・外部評価を実施できるように努めています。                        |
|          | 9                                      | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  | ○  |                          | ・全員、外部研修に参加できた。  | ・研修内容を職員間で返しを行いながら情報を共有していきます。               |
| 適切な支援の提供 | 10                                     | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか   | ○  |                          | ・職員間で支援計画に対して具体的なコメントをもらいながら作成できている。                           | ・引き続き、職員間で話し合える場を設けながらよりよい計画にしています。          |
|          | 11                                     | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   | ○  |                          | ・アセスメントシートを使用できている。  | ・現在使用しているアセスメントツールだけでいいか検討しながらよりよいツールにしています。 |
|          | 12                                     | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか |    | ○                        | ・地域支援の設定が難しい部分でもあるが、地域の公園を利用しながら、どんぐり以外の子どもたちと触れ合える機会を大事にしている。 | ・地域支援として何ができるか検討を重ねながら、具体的な内容を設定していきます。      |
|          | 13                                     | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | ○  |                          | ・毎日、計画内容を確認しながら支援にあたれている。                                      | ・今後も引き続き情報共有しながら支援にあたります。                    |
|          | 14                                     | 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | ○  |                          | ・子どもの状況を確認しながら立案に反映している。                                       | ・職員に負担がかかりすぎないように、工夫をしています。                  |
|          | 15                                     | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか   | ○  |                          | ・季節ならではの活動も取り組んでいる。  | ・今後も工夫をしながら、取り組んでいきます。                       |
|          | 16                                     | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか   | ○  |                          | ・子どもの状況に応じて、工夫をしている。   | ・引き続き工夫をしながら取り組んでいきます。                       |
|          | 17                                     | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか   | ○  |                          | ・毎日、確認、打ち合わせを実施できている。  | ・引き続き取り組んでいます。                               |
|          | 18                                     | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか  | ○  |                          | ・毎日、反省をする時間を設けている。   | ・引き続き取り組んでいます。                               |
|          | 19                                     | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか   | ○  |                          | ・記録ももちろんだが、話しあう場も設けて、改善につなげている。                                | ・引き続き取り組んでいます。                               |
| 20       | 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | ○   |    | ・定期的な面談を実施して計画の見直しをしている。 | ・引き続き取り組んでいます。   |  |

|                |    | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標  |
|----------------|----|---|----|-----|---|---|
| 関係機関や保護者との連携関係 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか  | ○  |     | ・参加出来ている。   | ・どの職員が参加してもよいように、子どもの状況に精通した者を増やしていきます。                                 |
|                | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか  | ○  |     | ・研修先で連携をとる機会はある。                                    | ・連携をはかれる機会をさらに多くもてるようにしていきます。   |
|                | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか                          |    |     |   | ・現在、医療的ケア、重症心身障害にあたる子どもは少ないが、関係機関との連携をしています。                            |
|                | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか                                      |    |     |   | ・現在、医療的ケア、重症心身障害にあたる子どもは少ないが、関係機関との連絡体制を整えています。                         |
|                | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか  | ○  |     | ・担当者会議を実施できている。                                     | ・コロナの状況もあり、なかなか直接会って話せる機会が少なかった。電話等のツールを使って工夫しながら連携をはかっています。            |
|                | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか  | ○  |     | ・移行支援シートを活用できている。                                   | ・移行支援シートだけではなく、直接話し合える場を設けていきます。  |
|                | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか   | ○  |     | ・全職員で公開療育に参加できた。                                    | ・今後も引き続き取り組んでいきます。  |
|                | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか  |    | ○   | ・併行通園している利用児が多いというところでは、自ずと交流する場面ではある。地域の公園を利用している。 | ・地域の公園を利用することで、どんでり以外の子どもとも交流する場にもなるので大事にしています。                         |
|                | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか  | ○  |     | ・地域の子育て支援のためのパンフレット作製の協力をした。                        | ・自立支援が主催する研修、地域の子ども部会に積極的に参加していきます。                                     |
|                | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか   | ○  |     | ・日々の連絡帳を活用したり適宜面談を実施したりしながら共通理解をはかっている。             | ・日頃から何気ないことを話しやすい職場の雰囲気作りで努めています。                                       |
| 保護者への説明責任等     | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか   |    | ○   | ・相談等にその都度、対応している。                                   | ・ペアレントトレーニングの資格を持った職員はいないためより専門的に支援にあたるように、支援を行える人材を育成していきます。           |
|                | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | ○  |     | ・丁寧に説明をしている。  | ・引き続き取り組んでいきます。   |
|                | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○  |     | ・職員間で話し合いながら計画作成をし、保護者に対して丁寧に説明を心がけている。             | ・ガイドラインをしっかりと読み込みながら理解しての計画作成を心掛けていきます。                                 |
|                | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | ○  |     | ・その都度、相談等を受付対応を行っている。                               | ・引き続き対応していきます。  |
|                | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか   |    | ○   | ・親子活動を実施してその中で交流できる場を保障している。                        | ・コロナの状況もあり、開催日数が少なかった。保護者に無理がないように設定、支援に努める。                            |
|                | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか                           | ○  |     | ・その都度、対応できる体制を整備している。                               | ・引き続き対応していきます。  |
|                | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか   | ○  |     | ・月に1回、通信を発信している。<br>・月に1回、ホームページに活動の様子をアップしている。     | ・引き続き実施していきます。  |
|                | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | ○  |     |   | ・引き続き、対応、実施していきます。  |
|                | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | ○  |     | ・視覚的に写真等を用いた連絡帳にて子どもの様子、思いを伝えている。                   | ・コミュニケーションをよりとりやすくするために、どのような配慮の工夫が必要か検討を重ねていきます。                       |
|                | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   |    | ○   |   | ・地域の公園や散歩等にてお会いする地域住民の方々へのあいさつからスタートして、まずは地域の中にある事業所だと知ってもらえるようにしていきます。 |

|         | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点                                | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標  |
|---------|--|----|-----|--|---|
| 非常時等の対応 | 41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか        | ○  |     | ・マニュアルを作成し、速やかに連絡を行っている。               | ・より詳細なBCP作成を早急に行っていきます。   |
|         | 42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | ○  |     | ・定期的に訓練を実施し、訓練の様子をその都度お知らせしている。        | ・引き続き実施していきます。  |
|         | 43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか  | ○  |     | ・アセスメントシートにて把握している。                    | ・引き続き対応していきます。  |
|         | 44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                                       |    |     | ・アセスメントにて、状況等の確認を行っている。                | ・現在は対象となる利用児はいませんが、対象となる利用児がいた場合でも対応はできる体制ではあります。   |
|         | 45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○  |     | ・ヒヤリハットが起きたその都度、職員間で共有、改善への会議を実施できている。 | ・引き続き対応していきます。  |
|         | 46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | ○  |     | ・法人内の研修にて学ぶ機会がある。                      | ・引き続き実施しながら虐待防止への意識を高めていきます。  |
|         | 47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか |    | ○   | ・契約をする時点で、説明を行っている。                    | ・定義的な身体拘束としてだと、対象児となり得る該当児はいないが、声掛けで子どもの動きを静止することも身体拘束にあたるものだという視点をもちながら、身体拘束とは？という意識を更に強め、職員間で検討、改善していく場を設けます。 |

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)